


# 散り椿 ロケ地マップ 富山 歴史めぐり

木村大作監督が「富山には時代劇が撮れる土壌がある」と、本作でロケの大半が行われた富山県。それぞれに由緒と長い歴史を持つ名所古刹の数々で撮影が行われました。作られたセットにはない「本物」を感じさせる富山の歴史と文化が、皆さんをお待ちしています。



**1 漁師町・氷見の家並み**  
氷見市泊の藪田漁港付近



「ひみ寒ぶり」で有名な氷見市の沿岸部には、昔ながらの漁師町の風情が残っています。

**🎬** 歴史を感じさせる雰囲気を残す土塀が立ち並ぶ漁港近くの道路では、新兵衛がひとり歩く冒頭のシーンを撮影。猛嵐のなか雪を降らせる演出で撮影が行われました。


**2 まちょうざん こくたいじ 摩頂山 国泰寺**  
高岡市太田184



開山700年を超える臨済宗国泰寺派の本本山で、座禅の修行道場としても知られています。1304年創建の東松寺がはじまりで、後醍醐天皇の勅願所として有名です。毎年6月に行われる開山忌では、虚無僧による尺八の合奏が行われます。見どころも多く、周辺には名物の竹の子料理を味わえるお店も。

**🎬** 本作では、寺の庫裏で新兵衛と篠の居宅シーンの撮影が行われました。

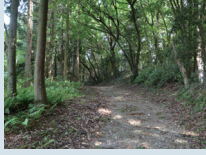
**3 武田家住宅**  
高岡市太田4258



国の重要文化財に指定されている武田家の居宅。武田家は甲斐・武田信玄の弟・追遠軒信綱の子孫といわれ、代々この地の肝煎り(一世役後)をつとめた豪農。山向こうの伏木勝興寺本堂再建時に出た余材で建てられたと伝えられています。明治以降は山岡鉄舟や横山大観ら多くの著名人が滞在し、それぞれ作品を残しています。

**🎬** 三右衛門の居宅として本作に登場し、見事な庭園がスクリーンに映し出されます。


**4 旧北陸道**  
小矢部市石坂



加賀藩の参勤交代や江戸時代の俳聖・松尾芭蕉などの文人墨客も通った旧北陸道。現在は歴史国道「俱利伽羅越え いにしへの街道」に認定され、歴史ロマンあふれる散策が楽しめます。

**🎬** 本作冒頭、新兵衛が雨野瀬を目指し峠道を歩くシーンが撮影されました。


**5 井波別院 瑞泉寺**  
南砺市井波3050



広々とした境内に歴史と風格を感じさせる、北陸最大の大伽藍を誇る古刹。日本遺産に認定された彫刻の町・井波の寺院らしく、見事な彫刻が随所になかでもひととき目を引くのが、太子堂の繊細かつ美しい彫刻の数々。境内を彩る桜や藤や紅葉など、季節ごとに美しい顔を見せる庭園や木々の息吹も、訪れる人を愉ませてくれます。

**🎬** 本作では回廊や本堂でロケが行われ、石田に捕えられた藤吾を新兵衛が救い出すシーンなどが撮影されました。

**6 長松山 本法寺**  
富山市八尾町宮腰1580




1316年に法華宗総本山本成寺開祖である日印(日蓮の孫弟子)の弟子・日順上人により建立された、北陸道布教の中心地。赤松の巨樹が歴史の

長さを物語る山里の静かな寺で、寺宝の「法華経曼荼羅絵図21幅」は国の重要文化財に指定されています。飛騨の匠による見事な彫刻が山門や鐘楼堂を飾ります。

**🎬** 山門前と手前の道で新兵衛が襲われるシーンが撮影されました。


**7 桂樹舎**  
富山市八尾町鏡町668-4



国の伝統工芸品にも指定される「八尾和紙」。紙漉ぎ、染め、加工まで職人の手仕事にこだわる伝統を受け継ぎ、独自の製品を作り出しています。建物は、廃校になった山合いの分校を移築したものです。ショップや和風カフェも併設され、予約すれば紙漉ぎ体験もできます。

**🎬** 田中屋で和紙を漉く手元のシーンが撮影されました。


**8 森記念秋水美術館**  
富山市千石町1-3-6



本作の撮影に協力した、平安時代中期から現代までの約200振りの日本刀を所蔵する美術館。全国でも珍しい刀剣美術館で、甲冑のような黒壁面の外観が印象的。曇りのない研ぎ澄まされた日本刀を意味する「秋水」から名付けられました。

**🎬** 修行に励みつつの平山道場・四天王と彼らを見守る篠・里美のシーンなどが撮影されました。


**9 長慶寺 五百羅漢**  
富山市五艘1882



富山市郊外・呉羽山にあるお寺の境内裏の斜面、木立の中に静かに佇む羅漢像。同じ顔は2体とないといわれますが、その表情はみな穏やかで、訪れる人の心を和ませます。富山ロケが始まる前から何度も現地に足を運び、四季を通して実景撮影が行われました。

**🎬** 修行に励みつつの平山道場・四天王と彼らを見守る篠・里美のシーンなどが撮影されました。

**10 豪農の館 内山邸**  
富山市宮尾903



幕末の1868年に建てられた、「越中一千石地主」といわれる豪農の館。重厚な造りの母屋に、名石や庭木を配置した宏大な庭園が見もの。庭園東側には梅園も広がり、1月末から3月下旬まで楽しめます。

**🎬** 撮影時には地元大工さん協力のもと、敷地内に里美・藤吾の坂下家居宅のオープンセットが建てられました。

※ロケ地めぐりはマナーを守ってお楽しみください。

**11 薬種商の館 金岡邸**  
富山市新庄町1-5-24



富山といえば薬売り。全国をまわる売薬さんたちが薬の原料を仕入れる薬種商を営んだ邸宅で、「越中売薬」の成り立ちや発展の秘密など、300年の歴史を丁寧に学べます。壁一面の薬たんすや薬の製造に使われた道具、薬を入れて運んだ柳行李などさまざまな資料を展示。見事な総檜木格天井の建物や庭園も必見です。

**🎬** 本作では和紙問屋・田中屋として邸内の奥道に土を敷いて撮影が行われたほか、石田邸の居間や庭園のシーンが収められています。


**12 浮田家住宅**  
富山市太田南町272



立山・黒部一帯の山林保護と国境警備を代々務める加賀藩奥山廻役の居宅であり、江戸時代中期の豪農民家の堂々たる建築様式を当時のまま残す貴重な建物。事前に申し込むと、茶室としても利用することができます。

**🎬** 撮影時には地元大工さん協力のもと、敷地内に里美・藤吾の坂下家居宅のオープンセットが建てられました。


**13 雄山神社 芦峯中宮祈願殿**  
立山町芦峯寺2



うっそうとした杉の大木に囲まれた境内に神聖な雰囲気漂う、立山をご神体とする雄山神社の1つ、「峠」の字には、神様が降り立つという意味があるそうです。

**🎬** 本作ラストの、采女と新兵衛が大雨のなか石田に立ち向かう殺陣シーンが撮影されました。実際に大雨が降るなかさらに雨を降らせての撮影だったそうで、映画「劔岳点の記」でも測量隊の出発地として使われました。

**14 立山大橋**  
富山市本宮 - 立山町芦峯寺



富山市と立山町芦峯寺を結ぶ、一級河川・常願寺川に架かる道路橋。橋上からは大日岳の雄大な景色が望めます。

**🎬** 橋の下で「巻狩り」や16頭の馬が駆け抜けるシーンが撮影されました。

※ロケ地めぐりはマナーを守ってお楽しみください。

**15 「俺の道」**  
上市町広野新付近



木村監督のお気に入り、「俺の道」と呼んでいる名峰・劔岳のピュースポット。劔岳を仰ぎ見て映画「劔岳 点の記」を撮ろうと決めた場所だとか。

**🎬** 若殿が雨野瀬へ戻ってくる馬上のシーンが撮影されました。


**16 眼目山 立山寺**  
上市町眼目15



さっかの地区にあることから通称「さっかのてら」と呼ばれる。1370年に大徹宗禪師により創建された曹洞宗の名刹。立山権現がきこりの姿となって禪師を導き、寺院の建立をすすめたと伝えられています。

**🎬** とが梅並木が立ち並ぶ山門前の参道では、新兵衛が馬に乗って子どもを助けるシーンや、里美が新兵衛を追いかけるラストシーンが撮影されました。

**17 文武学校**  
長野市松代町松代205-1



文武を奨励した松代藩八代藩主・幸貫が水戸の弘道館にならって計画し、九代・幸貫の時代に完成した藩校。明治時代初期に廃止されましたが、建物は昭和期まで学校として使用され、当時から建造物や藩校敷地がそのまま残ります。教室にあたる文学所のほか剣術所、柔術所、弓術所、槍術所などがあります(2020年までの保存整備工事期間中は一部見学できない箇所もあります)。

**🎬** 平山道場内の設定で、弓術所では新兵衛の迫力ある殺陣シーンのほか、文学所では城中執務のシーンが撮影されました。

**18 真田勘解由家**  
長野市松代町松代212



主屋は江戸末期に藩主の館・花丸御殿の一部を移築したと伝えられているもので、木造平屋建て(一部、中二階)、棧瓦葺で藩重役たる上級武家住宅の風格を示す遺構が見られます。現在は一般社団法人 箒曲八橋流が管理。

**🎬** 石田邸の家門として登場。長野市上下水道局協力のもと、10以上の雨を降らしながら撮影されました。

※ロケ地めぐりはマナーを守ってお楽しみください。




**19 浮田家住宅**  
富山市太田南町272



立山・黒部一帯の山林保護と国境警備を代々務める加賀藩奥山廻役の居宅であり、江戸時代中期の豪農民家の堂々たる建築様式を当時のまま残す貴重な建物。事前に申し込むと、茶室としても利用することができます。

**🎬** 撮影時には地元大工さん協力のもと、敷地内に里美・藤吾の坂下家居宅のオープンセットが建てられました。

**20 雄山神社 芦峯中宮祈願殿**  
立山町芦峯寺2



うっそうとした杉の大木に囲まれた境内に神聖な雰囲気漂う、立山をご神体とする雄山神社の1つ、「峠」の字には、神様が降り立つという意味があるそうです。

**🎬** 本作ラストの、采女と新兵衛が大雨のなか石田に立ち向かう殺陣シーンが撮影されました。実際に大雨が降るなかさらに雨を降らせての撮影だったそうで、映画「劔岳点の記」でも測量隊の出発地として使われました。


**21 文武学校**  
長野市松代町松代205-1



文武を奨励した松代藩八代藩主・幸貫が水戸の弘道館にならって計画し、九代・幸貫の時代に完成した藩校。明治時代初期に廃止されましたが、建物は昭和期まで学校として使用され、当時から建造物や藩校敷地がそのまま残ります。教室にあたる文学所のほか剣術所、柔術所、弓術所、槍術所などがあります(2020年までの保存整備工事期間中は一部見学できない箇所もあります)。

**🎬** 平山道場内の設定で、弓術所では新兵衛の迫力ある殺陣シーンのほか、文学所では城中執務のシーンが撮影されました。

**22 真田勘解由家**  
長野市松代町松代212



主屋は江戸末期に藩主の館・花丸御殿の一部を移築したと伝えられているもので、木造平屋建て(一部、中二階)、棧瓦葺で藩重役たる上級武家住宅の風格を示す遺構が見られます。現在は一般社団法人 箒曲八橋流が管理。

**🎬** 石田邸の家門として登場。長野市上下水道局協力のもと、10以上の雨を降らしながら撮影されました。

※ロケ地めぐりはマナーを守ってお楽しみください。


**23 立山大橋**  
富山市本宮 - 立山町芦峯寺



富山市と立山町芦峯寺を結ぶ、一級河川・常願寺川に架かる道路橋。橋上からは大日岳の雄大な景色が望めます。

**🎬** 橋の下で「巻狩り」や16頭の馬が駆け抜けるシーンが撮影されました。

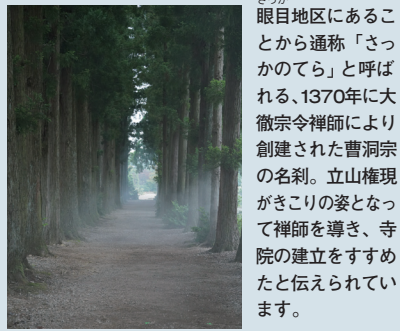
**24 「俺の道」**  
上市町広野新付近



木村監督のお気に入り、「俺の道」と呼んでいる名峰・劔岳のピュースポット。劔岳を仰ぎ見て映画「劔岳 点の記」を撮ろうと決めた場所だとか。

**🎬** 若殿が雨野瀬へ戻ってくる馬上のシーンが撮影されました。


**25 眼目山 立山寺**  
上市町眼目15



さっかの地区にあることから通称「さっかのてら」と呼ばれる。1370年に大徹宗禪師により創建された曹洞宗の名刹。立山権現がきこりの姿となって禪師を導き、寺院の建立をすすめたと伝えられています。

**🎬** とが梅並木が立ち並ぶ山門前の参道では、新兵衛が馬に乗って子どもを助けるシーンや、里美が新兵衛を追いかけるラストシーンが撮影されました。


**26 文武学校**  
長野市松代町松代205-1



文武を奨励した松代藩八代藩主・幸貫が水戸の弘道館にならって計画し、九代・幸貫の時代に完成した藩校。明治時代初期に廃止されましたが、建物は昭和期まで学校として使用され、当時から建造物や藩校敷地がそのまま残ります。教室にあたる文学所のほか剣術所、柔術所、弓術所、槍術所などがあります(2020年までの保存整備工事期間中は一部見学できない箇所もあります)。

**🎬** 平山道場内の設定で、弓術所では新兵衛の迫力ある殺陣シーンのほか、文学所では城中執務のシーンが撮影されました。

**27 真田勘解由家**  
長野市松代町松代212



主屋は江戸末期に藩主の館・花丸御殿の一部を移築したと伝えられているもので、木造平屋建て(一部、中二階)、棧瓦葺で藩重役たる上級武家住宅の風格を示す遺構が見られます。現在は一般社団法人 箒曲八橋流が管理。

**🎬** 石田邸の家門として登場。長野市上下水道局協力のもと、10以上の雨を降らしながら撮影されました。

※ロケ地めぐりはマナーを守ってお楽しみください。